

製品名: イカロスウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87255**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:50-1:100, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 58 kDa; Observed MW: 50-70 kDa

抗原情報

遺伝子名	Ikaros
別名	IK1; LYF1; LyF-1; CVID13; IKAROS; PPP1R92; PRO0758; ZNFN1A1; Hs.54452
遺伝子 ID	10320
SwissProt ID	Q13422
免疫原	ヒトイカロスの合成ペプチド

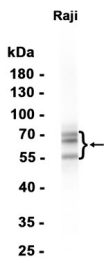
背景

この遺伝子は、クロマチンリモデリングに関連するジンクフィンガー DNA 結合タンパク質ファミリーに属する転写因子をコードして

います。このタンパク質の発現は胎児および成人の造血リンパ球系に限定されており、リンパ球分化の調節因子として機能します。この遺伝子については、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。ほとんどのアイソフォームは共通の C 末端ドメインを有しており、このドメインにはヘテロまたはホモ二量体形成、および他のタンパク質との相互作用に必要な 2 つのジンクフィンガーモチーフが含まれています。しかし、アイソフォームは DNA に結合する N 末端ジンクフィンガーモチーフの数や核局在シグナルの有無が異なり、DNA 結合特性を持つものと持たないものが存在します。標的遺伝子のプロモーターにおける特定のコア DNA 配列要素への高親和性結合に必要な 3 つ以上の N 末端ジンクモチーフを含むアイソフォームはごくわずかです。DNA 非結合性アイソフォームは主に細胞質に存在し、優性負性因子として機能すると考えられています。一部の優性負性アイソフォームの過剰発現は、急性リンパ芽球性白血病 (ALL) などの B 細胞悪性腫瘍と関連付けられています。[RefSeq 提供、2014 年 5 月]

研究分野

画像データ



Ikaros ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Raji 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。